夕刊 磐城新聞
一月十四日發行
日曜祭日翌日休刊

明治物と讀者の好尚
…小說は警世の具也の辯…

寺島柾史

◇

近藤勇や桂小五郎などの出てくる、幕末を主材としたる小說や劇が、いさゝか下火となつて、いはゆる幕末物も鼓許一服といつたかたちである。（幕末の再檢討はこれからであるが）

これに代つて、明治初年物や、あるひは、さかのぼつて德川初期から戰國時代もつと古く平安、天平時代といつた風にいろ〜題材を物色するために、作者も腐心してゐるやうで、なかでも、ちかごろ明治物（特に初年を主材したる）に眼をつける作者も多くなつて來た。映畫になつた川口松太郎の『愛憎峠』や、同じ作者の『明治十二年）や目下讀賣新聞に連載中の邦枝完二の『お傳地獄』などがその一例である。そして讀者もどうやら、幕末の血醒い劍戟の場面をよろこぶといふ傾向から、次第に明治初年の異國的な趣味好尚に心を惹かれて來たやうである

◇

ところで、明治物だが、いくらザンギリに興味をおぼえ、人力車や、陸蒸氣を取入れて、まさしく明治の開化を寫したつもりでゐても、單に當時の人情風俗を描寫し物語つたゞけでは今日の作者の使命は完ふされたものとはいふわけにいかぬ

たとへば、『お傳地獄』のやうに一流の名調子で、明治初年の妖婦を描いてもそれが徹頭徹尾明治初年の女の行狀を寫したゞけに物足りないとおもふ。明治時代の時代風俗、人間心理を描くだけなら、何も今日わざ〜古い記錄や資料を引つくり返し、苦心慘澹して書く努力を要しない。當時の作者、たとへば幸堂得知や饗庭篁村や、塚原澁柿や、幸田露伴や、尾崎紅葉や、廣津柳浪や、山田美妙や、川上眉山等々が書き古してゐる

◇

要は、明治初年物でも、幕末物もよいが主材をいつの時代に取入る事もよいが時代精神をしつかりつかんで、それを今日再現せしめ今日の讀者の胸を打つのでなくては、いかに腐心經學しても無駄なのである（未完）

石雞新年句會

時　一月十二日午後六時
處　鈴木秀山居
題　初寫眞、新海苔、鍬初め、しまき

向峰先生、喜山郎、武門兩兄の姿が見えなかつたが潮聲の何鳴先生、柴子兄のお珍らしいお顏が並び賑やかな句會だつた　欣々子報

採點の結果は十八點の何鳴先生、十三點の柴子兄十二點の青洲、青柳子兩先生以下略

最高點句
新海苔のいみじき潮の香を愛でつ　何鳴

次點句
べと〜とつく濡れ土や鍬初め　磐州子

四點句
鍬初の幣眞白なる峽田かな　何鳴
店先の蜜柑ぬれゐるしまき哉　同

新海苔を掻く唄舟に夕日照る　青柳子

磐城歌壇
新妻久滿夫選

○昨日より今日と改りて初春の、山に登りて神に詣でぬ　佐藤清長
○むらさきにけむれる春の山々の、峰をこめつゝかすみ立つ見ゆ
○山門のいたく古びしかたはらに、梅は蕾めり新としのきて

磐女校友會誌 かをりから

排球試合
一年 鈴木トヨ子

『しつかりたのむよ』『はい』『おちついてね』『ボールをね、つてね』『はい』。掛聲に勵まされ、皆心を一つにして、ボールを見詰めボールのとほりに動いてゐる。空は、くつきりと、晴渡つてゐる。一回戰に負けてしまつた。二回戰のもう、自分は何處に立つて居るのか、何も分らない。雨上りだつたので、それに又私はあわてものだつたので、皆より以上滑るので友達は笑ふ。誰の顏も〜緊張して一心にボールを見詰めてゐる。ラストまで、やらなければならね。私はボールを網にかけてしまつた。私は泣きたいのを、ぢつと我慢をして、今度こそはと思つて、ボールを見詰めてた

夏祭
一年 松崎悅

祭といふ字を見る度に、又聞く度に、あの賑かな夏の夜の祭を思ひ出す。夏の祭は暑い夏に相應しい愉快さ、樂しさの感ずるものだ。夕食をすまして團扇片手に、提燈の點つてゐる社の方へ歩を運ぶと、次第に人通りが多くなる。境内には露店がぎつしりと並んでゐる。其處へ行くと、母親の袖にすがつて、あれを買つて、これを買つてとせがむ聲がそちこちにする。アイスクリーム屋や一錢氷屋等々の客を呼ぶ聲もしきりに聞こえる

參拜をすまして露店を覗くと、ガス燈の灯影に浮ぶ樣々の品、古雜誌、繪本、キユーピー、人絹製の袋等々隨分ある

自分は出嫌ひなので、緣日等にはあまり行かないがガス燈に照らされた樣を眺めるあの味は忘れる事が出來ない

弟
湯本吉田 咲

肉迫してゐる赤い大きな犬に追ひつめられた黑い犬の叫鳴する
眞白な齒並うつろなまなこは
ぶたれてもぶたれても狂暴な兄に手向ひもし得ない
弟の淋しいかなしい眸にも似て
こんちき生赤犬を追はうとしてふりあげた石の冷たさ

1月15日

△布哇群島發見（一七七八）△午前五時五十分關東地方に激震あり（大正一三）△米國大統領、議會に對し平價切下に關する特別敎書を發す△キユバのサンマルチン大統領辭職す△佛國旅客機墜落し十名慘死△インド大地震で死者一萬人を出す△軍艦春日、皆既日食觀測の日米學者を乘せ、南洋の孤島に向ふ（昭和九）

その日〜

○ 在京の友人からボンカンを贈られた。この町では、どこを探しても無かつた果物だ

講談 戸隱奇譚 山の怪秘 (83)
丸山寛雄作　眞木浪畵
川中島（七）

『親方、どこへ運ぶんで……』

『知れたこと、溜りで活を入れてやれ』

そこへ、二三人の獰猛な川越人足が飛んで來て、船の中からられた豐を抱きあげる。一人が頭の方を、一人が足と胴中を、一人が足を持ち上げて稍高目になつてゐる人足溜りの方へ擔いで行く

『御苦勞だつたな』

典膳は、そこへ小舟を元へ繋いでゐる殊勳の船頭に、いくらか鳥目を掴ませた

『へえ親方、すみませんです。男の客は、今頃だしかに土左衛門になつてまさあ。いくら二本差して威張つて見たところで、水の上では所詮こちらにや叶ひつこねんですからね。はゝゝは!』

金にさへなればなんでもやる川越人足である。その笑ひ方に動物的なところが見わた

典膳は一番あとから溜り部屋の方へ上つて行く

よしず張りの溜りの中では、既にお豐が後手にしばり上げられ猿ぐつはをはまされてゐる。二人の人足が傍に腰を卸し、一人は立膝になりながらお豐の豐艶な顔をすくつてはにや〜してゐる

『おい兄弟、親分も罪つくりだな。こんな獲物をこちらに擔がせるなんて、どうだこの頤の柔らかさは……!』

今にも涎の垂れさうな顏をしてお豐の顔をいぢくつてゐる

お豐は、成だけ俯向いてはゐるが自由を束縛されてゐる身では、これ以上どうにも身をもがくことも出來ない。ぢつと紫色に染つた下唇を嚙みしめて、つぶらな瞼を堅く伏せてゐるばかり、すべてを觀念したやうである

愛する良人、平七郎は河に突き落され、今また自分は野獸のやうな川越人足の弄み者とならなければならない。お豐はもう身も世もなかつた。こんな囚はれ人になる位なら、何故あの時、平七郎と一緒に河の中へ飛込まなかつたであらうさすれば、今頃はどうにか決つてゐるに違ひない。よしそれが死にしろ、良人と二人でなら本望ではないか自分はたゞ、事の突發と同時に狼狽恐怖したゞけで賢明な大膽な道をとらなかつた。お豐にはこれが深く悔やまれた。胸の底から、かたまりのやうな自責の氣持がどきりどきりと咽喉をふさげるやうに、こみ上げてくる

一層このまゝ、舌を嚙み切つて死んでやらうか!

お豐は、捨て鉢の氣持に駆られた。が、しかし河中へ突き落された良夫の行方が氣になつた。若し幸ひにして生きてゐたら自分の死は無駄となる。良人の生死の程もよく確めないうちから早まる必要もないではないか。といふ反省の念も湧き起つてくる。この上はすべての迫害を忍べるだけ忍んで良人平七郎の生死を知り、その上で身の處置をとらうと深く決心した

お豐は、堅く瞑つてゐた瞼をうすめにあけて、人足共の氣配を窺つた。このときは三人の人足共も、か弱い女一人と見くびつてか向ふ向きになつて、また丁半を張り始めてゐる

逃げれば逃げられる!

お豐は用心深く、手を縛られたまゝ、少しづゝ後へ退り始めた

膝頭で身體を徐々に背後へずらすのだから、砂利が肉へ食ひ込んでその痛さは又格別である。それといふのもこの部屋の隅に一つの尖つた河原石が轉がつてゐるからだ。お豐はその近く寄つて行つて縛られた手の繩を擦り切らうと考へたのだ

果してうまく行くだらうか。人足達は丁半に夢中になつてゐる

廣告

美味で評判の
イワキサロン
平町電三五二

株式賣買、債權取立
合資會社 三共商事
平町大町電三六〇

移轉御通知
今度二丁目中野洋品店向へ移轉致しました。
倍舊の御引立を願ひます。
洋服は高島屋へ
◎既製品も各種取揃へて御座います
新店舖 平町二丁目通り
高島屋洋服店
電話三八六番

明けまして御目出度ふ
年明けると共にニユーと現はれました。
花の平は新田町に素人料理、おでんかん酒、榮ちやんの暖簾マヅイ事天下一品、一度は御立寄り御試食御批判を願ひます
平町新田町
おでん 榮ちやん
小娘さん至急入用（十三―十五迄）

内外建築材 建具材
磐城國平町（公園下）
入 阿部材木店
阿部好利 改メ（章）
電話四九四番

大塚の一大飛躍
―初春……特賣
お客樣本位の暖簾の店
新型と製法の自慢の店
驚異的なる其の値段
御用命は安心得る大塚へ
◎自製學生靴　短靴 五、〇〇　女靴 六、〇〇　編上靴 七、〇〇　均一
◎紳士靴……七、〇〇より各種
新製品・御案内
舶來ボツクスカーフ　短靴 九、〇〇
同　編上靴 一〇、〇〇
惣革ウラ、ボタン、美錠 エナメル飾　同値
右は御注文歡迎亦出來合品豐富揃
平・田町 大塚製靴部
電話七十七番

和洋家具
初春 出張賣り出し 十ケ月拂ひ
おなじみの丸和が參りました、御家族御團欒の御居間の御道具は是非丸和の出張所で必ず皆樣の御期待に添ふ樣な精撰せる品々を豐富に取揃へて御座います。
平町南町 片倉繭買場内
東京丸和家具百貨店出張部
（今月一ぱい）

内臟 外科 一般
花柳病科
入院隨意 自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）
安齊外科醫院

十日―体温計の檢査日です
新設檢機
お宅の體溫計は?
◎正確な体溫計を御使用下さい
◎毎月十日の檢査日御利用下さい
度量衡計量器 指定販賣人
西村屋藥局
平二・電三番

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋 和洋銅物
（久） 釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は（久）の生命なり

國は日本。凍魚はヒノマル
ヒノ◎マル
凍魚
日本製氷一手特約
發賣元
平製氷株式會社
電話二八・三一六番
平町代理店
ト印魚問屋
電話五二八番
鯛。海老。白魚。帆立貝
刺身魚、煮魚、各種品々一個一尾ニテモ迅速配達……

内臟外科一般
外科花柳病科
（入院隨意）
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三一〇九

内科
平南町（電二四三）
川井内科診療所
川井安子

自轉車乘用家の惱みは解消
雨降らば降れ!雪何のその!!!
いとも朗か!平氣で行進!!!
特許「流線型自轉車こうもり」の御使用をお奬め致します。
從來の苦惱…下体の濡汚は…爪先迄完全防止。强力防水布及鋼鐵の特製なれば耐久力强大…折り疊めば極めて小さく携帶至便
御通勤に、御通學に、御商用に、其の他一般輪乘家は衞生保健の爲め……是非一本を!
特賣期間中一本六十五錢
一月二十五日迄（但し遠隔地は送料要十錢）
石城郡四倉驛前 福島縣總代理店 白川東光舍
平町販賣店 國村自轉車店
才槌小路 電話五三八番
平町北目 矢野自轉車店
大野村 鈴木自轉車店
縣內各地特約店急募（一驛一店制）
（返信料添附御照會を乞ふ）
必備せよ……一車に一本

外科
内臟外科
レントゲン線
▷病室完備◁
醫學博士 諸橋鐵彌
新田町二七（電四六四）

月曜論壇

平小鐵確定禮讃

地方民の待望措かざりし平小鐵道は之と呼應する小名濱商港が曩年來着々として進められつゝある折柄、之のみ閑却するが如き跛行的措置が理論上絶對に認められぬ處から、寧ろ既定の事實であつたらうが、國の豫算を擧げて緊縮節約の大斧鉞を加へられ全國の既定事業中縮小繰延べの運命に逢着したもの少からぬ今日之が正式決定を見た事は國家國民の爲寔に慶祝に禁ねぬ處である

抑々本線は磐越線の延長即ち東太平洋、西日本海の連絡線で距離僅に十四粁餘に過ぎぬが、平及小名濱町に在つては最も重要の關係を有し、輓近倍々產業の開發と物資の增加に伴ひ、之が實現は地方民擧て一日千秋の熱望裡に在つた、而も當地方の產業狀態は大なる矜りとするもの尠きが如きも亦埋沒せる遺利に乏しくない、彼の沿線區域內より產出する木材、石炭の如き實に無盡藏にして之が利用の途甚だ廣く前途好望の物產と謂ふ事が出來る、就中石炭と共に地方產業の王座を占むる海產物は實に文字通り無限の寶庫で其產額五百萬圓以上に達し、小名濱商港の完成と共に彌々殷賑を極め必然的に物資の集散多きを見るに至るべく運輸の便否は一に繫つて本線の延長に賴る處大なるは言を俟たぬ處である、加ふるに數千萬坪の磐城炭田を有し現在に於ける石炭採掘高年產三百萬噸に及ばんとし、此の大量輸送は鐵道に依るの外なく、一面小名濱築港の事業の完成も亦近きに在り海陸相待つて交通の便益は劃期的の陣容を整備し地方の開發と之に伴ふ產業の獎勵發達は絮說する迄も無く此際本鐵道敷設の正式決定こそは地方及國家の福利を增進する上に於ていかの商港に配するにピラミツト頂上に貴重なる最後の一石を完成したものと謂はねばならない。敢て玆に衷心祝福禮讃の誠悃を納べて止まぬものである

勞資協調 廢物代と禁煙勵行で入山自治會館を新築
來紀元節當日地鎭祭擧行

入山炭鑛從業員より成る入山立國勞働自治會は曩年從業員間の修養互助機關として創立されて以來極めて健全順調に發達し、今や全山二千の會員を擁して渾然勞資協調の一大集團たる威容を保つてゐるが會の發展と共に諸種の集會等に際し現在の自治會館では狹隘且つ不備の點あるを感ずるに至つたので之を新築する事になり來月十一日の紀元節をトし地鎭祭を擧行すると云ふが、建設費は會積立基本金の外先年來勵行しつゝある坑內外の喫煙禁止(坑外は一定の場所を限り許す)に因つて生じた社給煙草代節約五千八百圓と兩三年來の鐵屑拂下代六千圓等を加へ總計二萬圓の豫算を以てする筈で、來陽春の山神祭典に行はるる豫定の同社創業四十周年記念祭典(祭典費一萬圓を計上)には間に合はぬので十一月三日の明治節をトし盛大な開館式を行ふと

御降誕を記念する 豊間校講堂落成す
美まさに地方一

皇太子殿下御降誕記念事業たる豊間村小學校講堂は既報の如く公會堂を兼ねたもので一昨十二日竣功式を擧げ來る十九日には落成式を擧行するがその設計(大井勇氏)は大に將來を考慮し音響學的に天井の丸み、天井及び床板の材料、ステーヂの構造等には特に細心の注意を拂つた結果、地方稀有の出來ばえでその後既報の大𢌞網事務所酒井、阿部、遠藤三氏より同じく皇太子殿下御降誕記念として價格一千四百圓の平臺ピアノ寄贈があり、ピアノ定個當所床下約四坪の基礎工事等その設備は地方最初の試みとして誇るに足るものと云はれてゐる、尙ほ近く右ピアノ開き音樂會も盛大に開催する豫定であると

來年の土木費は大半が道路關係
町の豫算編成着々進行

平町來年度豫算中の土木費は目下神長倉技手其他の手で下調査を進めて居るが來年度は待望の高麗橋が改修された直後でもあり其他大小橋梁の改修が殆どない關係から豫算の大半は道路費で占められて居る、目下立案中の主なるものは平驛より四丁目マルトモ角に至る延長百二十間の新道鋪裝(工費三千餘圓)を筆頭に既報の田町大體脇より西村藥局裏に至る下水道の暗渠化(工費千五百圓)其他田町役場前より同町梅の湯前に至る七十間、及白菊酒店より西に才槌小路に至る五十間の町道の簡易鋪裝なども計劃されて居る、これらの工費は何れも地元半額負擔で大床裏の暗渠化が實現さるれば自動車の交通なども出來得る程に面目が一新されるわけで着工は委員會町會の議決を要る關係から來る六月頃になるであらうと

內郷信用組合總會
剩餘金處分決議

保證責任內郷信用購買組合は最近倍々成績を擧げ今や地方の模範組合として一層今後の活躍を期待されてゐるが今期成績次の如く昨十三日內郷家政學校內に於て開かれた第二十回通常總會に於て決議された

(剩餘金處分)金六千八百四十八圓八十二錢本年度總益金、金四千九十一圓二十二錢本年度總損金、差引金二千七百五十七圓六十錢本年度剩餘金(之の處分)金八百四十九圓九十四錢準備金出資拂込濟額に對し年三分、金三百圓の特別積立金、金千四百十六圓五十七錢配當金出資拂込濟額に對し年五分、金百三十八圓役員慰勞金、金五十三圓九錢後年度繰越金

貨物一二萬圓增收
赤字月皆無と云ふ 微笑ましい昨年中の平驛

平驛の昨年中の貨物收入は

一月	七、三七五、二五
二月	七、七〇八、三三
三月	八、五三三、七二
四月	八、五九五、一八
五月	七、五〇七、六一
六月	七、〇〇一、五〇
七月	六、七一〇、九九
八月	七、五三九、五四
九月	八、七六一、六五
十月	一二、一四八、〇五
十一月	九、三五二、五四
十二月	一〇、三三七、〇六

總計十萬三百七十一圓二十二錢で前年に比し一萬九千四百十四圓八十二錢といふ增收振りで赤字の月は皆無といふ微笑ましい躍進ぶりである

新京商業生物色
凶土救濟の一端に 縣下から五名を選ぶ

本縣學務課では石川郡蒐田村出身で目下ハルピンに在る宗像金吾氏が凶土救濟の一助として滿洲國新京商業學校入學志願者五名の選定方を依賴して來たので今十四日縣下各小學校長に今春卒業の優秀兒中進學出來ぬ境遇に在る希望者一名を選拔方を依賴して來た、尙ほ右は各郡取纏めて一名を嚴選(本郡詮衡者平第一校長篠山廉氏)の一月末日迄に縣に報告し一郡一名で十七名を取纏めの上更に五名を銓衡選定したものを前記宗像氏に一切を一任するもので卒業後は新興國滿洲の天地に就職口を求め大に雄飛することにならうと

放火の疑ひ
湯本在にボヤ頻發

湯本町大字水野谷農小野八十吉所有の萱束から十三日午前二時頃發火折からの强風に約百束を燒いた損害三十餘圓、前日も發火したが何れも放火の疑ひあるので目下平署で取調べ中

惡たれ程子は可愛い
毆られた親から貰ひ下げ 十八日尊屬傷害公判續行

一昨年八月實母トク(六九)を火箸で毆打して東京の娘方に走らせて飽き足らず去月十二日實父芳松(七二)を蹴り毆りしたと云ふ稀有の親不孝平町六丁雜貨商鈴木始(三一)に係る傷害事件公判は今十四日午前十一時より平區で香西判事係り清田檢事關興、山野邊辯護士立會の下に開廷されたが當人は犯行一切を認め、又父親よりの告訴取下げあつたが裁判官は職權を以つて取調べを續け來る十八日に續行、告訴人及び擔當醫師木村外科醫師から事情を聽取することになつた

小名濱町入營兵歡送會

小名濱町では左記入營十二名に對し來る十八日午前八時から歡送會を開く

(山砲兵)小林武雄、小野幸雄、小宮清次郎(電信)遠藤五郎(飛行)飯塚房三(野砲)柳內方正(工兵)石川政之助(步兵二九)柳內鑛一、久保木芳雄、小野正一、里見政雄(輜重兵特務兵)上野代大藏

上り急行平常復歸

劃期的出現により地方民から尠からず喜ばれた平驛發午前七時二分上り急行列車は屢報の如く改正早々北部の雪と匡救工事による線路改修に十分乃至四十分位の遲着振りで夙くもダイヤ再改正さへ叫ばれて居たが最近の氣紛れ陽氣に雪害の少くなつた爲めと當局の努力から去る八日來漸く定時運轉を續けて居るが果して何時迄續くかは疑問とある

々早春―明るい石炭景氣
十日間の增差九千キロ 各山元發送高

前年同期對比增送

十二月通計三百十五車、八千六百廻を最終として本年に入つた常磐炭界に於ける今正月上旬中の發送高は營業用三、三二〇車 四一、〇三九廻、省用一・三三三車 一六、八五六廻、合計四、六五三車 五七、八九五廻で前年同期に比し(增差)營業用四一九車 七、八六五廻、省用一一九車 一、四三六廻、合計五三八車 九、三〇一廻で既に一旬間に客臘全月分の增加量を突破し、春早々明るい石炭景氣を見せてゐる

もち米騰る
大減收の祟り

郡內の糯米はその質纖弱なため未曾有の減收を來たし過般來漸騰を續け舊正月間近かの昨十三日平米穀商組合では一瓩

陸糯白二三、五 田糯白二二、五

と五厘づゝの値上げを發表したが舊歲末の需要期迄には尙一二回の値上げを見るものと思はれて居る、因みに前年に比し現在で既に升十一錢宛の高値であると

第三校級長任命

平第三小學校では今十四日左記今學期級長任命式を行つた

三年一組玉木英雄 菅野光洋 二組山崎文平 蒔田五郎 三組谷島水子 古市利子 四組三森孝子 佐藤方子 四年一組白土義男 澄川欣司 二組野澤芳男 松崎佐二郎 三組五十嵐實枝子 三井敬子 四組松崎幸子 秋山貞子 五年男小松伸太 吉田眞一 女永島佳子 影山サト子 六男松崎惣兵衞 竹村彌實 女平澤ウタ 綱干テル

傳染病發生四百四名
施設如何で減少可能 昨年中の郡下統計

郡內三署管內に於ける昨年中の傳染病發生數は

	平	四倉	植田
赤痢	一三八	七	一三
チフス	一〇三	一九	一三
パラチフス	五二	―	二
ヂフテリア	三	二八	一七
猩紅熱	八	一	―
計	三〇四	五五	四五

合計四百四名で、前年に比し天候不順の爲幾分增加を示し、平は縣下各署に比し腸チフス、ヂフテリアで三位、パラチフス、猩紅熱では第二位と云ふ自慢にならぬ高位であるが、關係各方面が協力撲滅に盡力した結果發生件數の割合に死亡率が尠く今後の豫防如何により發生數を遙かに減少出來るものと觀られて居る

危い轉機に立つ身賣娘救はれん
大に乘氣の平紹介所

娘身賣防止時代に延びた溫い當局の手――神谷村中神谷字瀨戶三八ヨシ長女鈴木トリ子(二二)は舊臘廿二日家の生活を救ふべく働先の神奈川縣三浦郡三崎警察署に前借五百圓(四年間住込)で娼妓稼業を願ひ出たが同署でも出來得る事なら救つてやりたいと職業紹介中央事務局を經て今十四日平紹介所にこれが實狀調査方を照會し來つたので同所神長倉書記は直に平署に屆ける一方神谷の實家を訪れ同人の實母とも親しく話した上此程救濟のため縣より來て居る五百圓程の金もあることてこれにより何とか救濟の方法を講ずるつもりであると

海軍艦上簡閱點呼

今年度海軍艦上簡閱點呼は來る六月中小名濱で執行される豫定だが軍艦那珂(排水量五、一九五噸速力三三節、備砲八門、竣功大正十四年十一月)廻航の由

。。。。神谷夜警所竣功 神谷消防組第二部では石造夜警詰所を新築したので今十四日午後一時から落成式を同村農試分場で擧行

。。。。高橋巡查轉任 四倉警察署勤務高橋巡査は此程梁川警察署に轉勤十二日出發す

。。。。白水檢事著任 平檢事局檢事白水勝起氏は明十五日平着午後一時五十二分で福知山より著任すると

。。。。萬引そこね 磐崎村大字上湯長谷字力石酒井隆芳(三二)は去る元日午前十一時頃湯本町辰之口製靴店鈴木七郎方の店頭より編上靴一足(價格二圓)を萬引せんとして平署に御用

。。。。土屋課長視察 土屋本縣衞生課長は昨十三日來平横山署長の案內で磐炭附屬病院を視察

。。。。優良組員表彰 平町六丁目青年及火防組では此程の總會で優良組員として(火防)金成正一(靑年)吉野運之助兩氏を表彰

。。。。猩紅熱 平町仲町一二草履職小泉孝平(三五)は昨十三日猩紅熱と決定

石城學士會
一昨夜谷口の賑ひ

石城郡在住學士會は一昨十二日午後六時より谷口樓に於て矢野(古河炭鑛)横井(四倉セメント)石山(共濟病院)各幹事の下に開催、大森、濱田、小室の先輩をはじめ出席二十數名、次回幹事を鎌瀨(磐炭)鈴木(平本山形屋)松野尾(平)の三氏に決定、酒宴に入り大盛況裡に九時散會した

。。。。磐中寒稽古 磐中柔劍道部では去る十日より寒稽古を行つてゐるが連日兩部合せて約六百名の出席あり盛會であると

。。。。磐女書初め展 磐女校では今十四日より三日間生徒の書初中優秀のものを廊下に掲示一般公開する

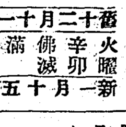
四倉通信
鹽鰯八百樽 會津からの註文で發送多忙な水產校

四倉實踐水產商業學校では此程會津地方より鹽鰯八百樽の注文あり職員、生徒は昨今早朝より荷造に忙殺されて居る

。。。。雞鳴會改選 四倉町雞鳴會では此程第卅二回總會を開催したが新役員次の如し 會長靑木公丸、副會長新妻熊男、幹事酒井忠太、和田民造外六名、顧問新妻町長外七名

。。。。元朝參拜團体 四倉驛では左記鹽釜神社並に竹駒稻荷の舊元朝詣り團体を募集中である

二月三日午後八時二十二分發、四日午前八時十一分歸着、會費二圓七十錢(四割引)



火曜 辛卯 佛滅 滿 尾宿
舊十二月二十一日
新一月十五日

諸判定總報 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神宮館

▲一白の人 僞すこと拗らすとも後の爲と思ひ勵むべし▲二黑の人 期待の相違し易き日氣を落付け焦らぬが吉▲三碧の人 せいい事に當らば意外の援助を得て歡ある日▲四綠の人 平和を第一として一家同體となりて働くべし▲五黃の人 階段を昇るが如く秩序正しく徐々進むべし▲六白の人 實直に勵めば豫期以上の發展を得らるべし▲七赤の人 調子に乘り過るときは意外の失敗あるべし▲八白の人 果斷にして迷ふ事なくば成功の一日となる▲九紫の人 慾は捨てゝも禮は重んずべし田園生活も吉

十五日(小名濱測候所調査)
日出 六、四七 月出後 〇、四八
日沒 四、四六 月沒前 二、五九
滿潮 前一一、二五 後八、〇〇

磐城共濟病院(福島縣平町)(電話六四一番)
內科 院長 醫學博士 石山謙一郎 電話六四一番
小兒科 部長 岩手醫學士 平賀一忠
產婦人科 副院長 醫學博士 五十嵐雄二 電話三七〇番
外科 耳鼻咽喉科 部長 醫學士 大町久藏
皮膚泌尿器病科 花柳病科 部長 醫學士 前澤正 電話二七二番
X光線科 醫學博士 石山謙郎
物療科 技手 石山彥
衞生試驗所 獸醫 高後利雄
藥局 藥局長 藥劑師 吉本孝平
事務長 鈴木寶雄
◎每日午前八時ヨリ ◎夜間診療開始)每夜午後十時迄) ◎病室完備 入院隨意

難波醫院
內科 小兒科
入院應需 自炊の便あり
平町大町 電話五〇二番
醫學博士 難波睦

氣管、食道科、耳鼻、咽喉科、專門
平町南町 (元眞木辯護士跡)
增田耳鼻咽喉科醫院
電話四八二番
(入院隨意)

專門 耳鼻咽喉科
高柳耳鼻咽喉科醫院
平町驛前 (電三三六)
醫學博士 高柳博明
(入院應需 自炊ノ便アリ)